

# 大阪経済の情勢

(2021年7月指標を中心に)

2021年9月  
大阪府商工労働部  
(大阪産業経済リサーチ&デザインセンター)

## 「大阪経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、 厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる」

**需要面**では、個人消費は、持ち直しの動きが続いているものの、一部で弱さが増している。百貨店・スーパー販売額、コンビニ販売額は増加。家電販売額、新車販売台数は減少。家計消費支出(近畿;6月)は増加。投資は、持ち直している。住宅投資、非居住用建設投資はともに増加。公共投資は減少。輸出は、持ち直している。輸出額は増加。主要国向けでは、すべての地域向けで増加。輸入額は増加。

**供給面**では、生産動向は、持ち直している。大阪府(6月)では、生産、出荷はともに上昇。近畿の生産(6月)は上昇。全国の生産(7月)は低下。企業倒産では、件数、負債金額はともに改善。雇用は、弱い動きが続いているものの、下げ止まりの兆しがみられる。近畿の失業率は悪化。有効求人倍率、新規求人倍率はともに低下。所定外労働時間(6月)は上昇。

**先行き**では、新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動は大幅に下押しされた状態が続いているため、今後の動向に引き続き注意が必要。

		需要							
	総合	消費				投資		貿易・観光	
	一致CI (大阪)	大型小売店 販売(大阪)	コンビニ 販売(近畿)	家電販売 (大阪)	新車販売 (大阪)	新設住宅着 工(大阪)	建築物着工 (大阪)	輸出 (近畿)	関空外国人 旅客
7月		▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
6月	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲

		供給				
	生産	倒産	雇用			
	生産指数 (大阪)	生産指数 (全国)	倒産件数* (大阪)	有効求人倍 率(大阪)	失業率* (近畿)	
7月		▲	▲	▲	▲	
6月	▲	▲	▲	▲	▲	

※前年同月と比較し、上向きの矢印は「景況改善」、下向きの矢印は「景況悪化」。ただし、一致CI、生産指数、有効求人倍率は季節調整済みのため、前月との比較。失業率と倒産件数は、減少・低下が景況改善となり、上向きの矢印となる。

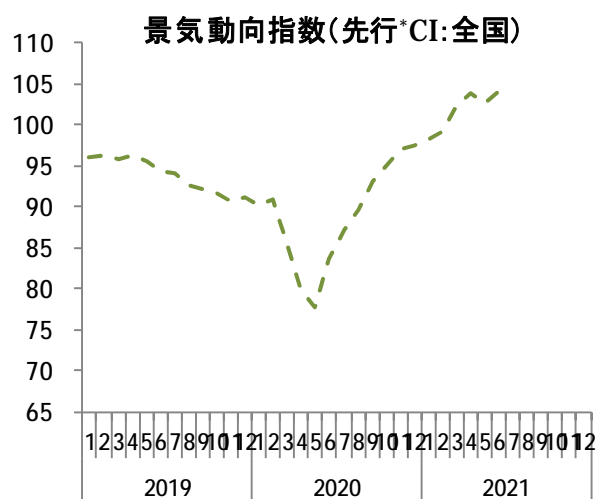
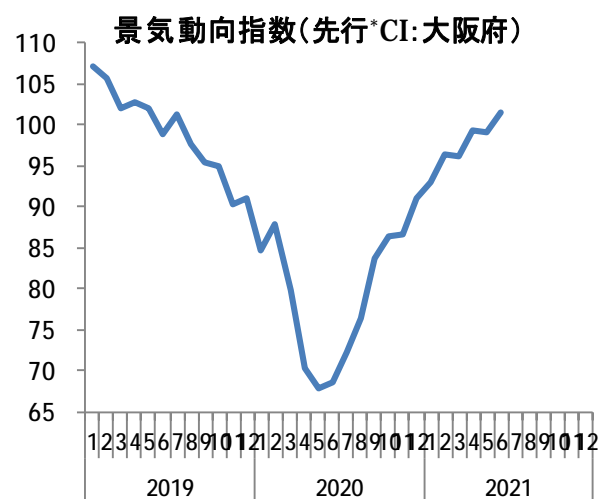
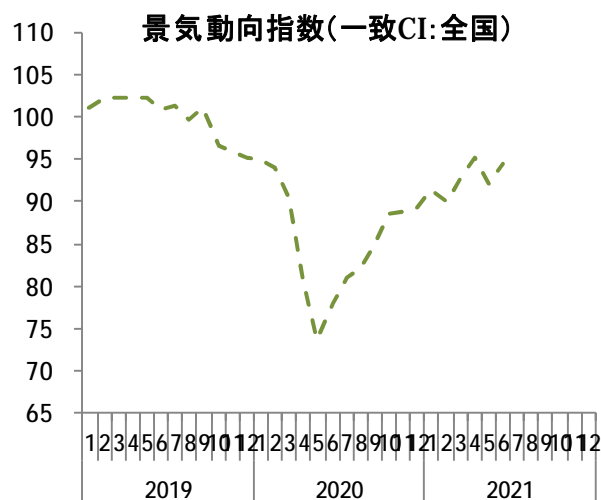
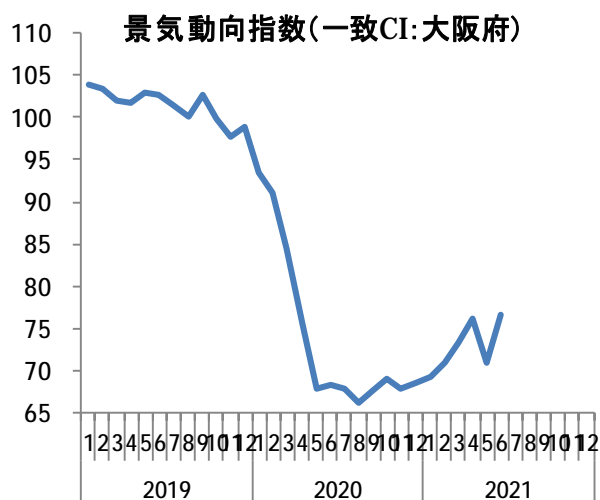
(参考)各機関の総括判断

	先々月(2021年7月公表分) (2021年5月指標中心)	先月(2021年8月公表分) (2021年6月指標中心)
大阪産業経済リサーチセンター 「大阪経済の情勢」	大阪経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる	大阪経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる。
内閣府 「月例経済報告」	景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部で弱さが増している。	景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部で弱さが増している。
近畿経済産業局 「近畿経済の動向」	近畿地域の経済は、厳しい状況にあるが、一部に持ち直しの動きがみられる。	近畿地域の経済は、厳しい状況にあるが、持ち直しの動きがみられる。
日本銀行大阪支店 「関西金融経済概況」	—	—

※以下、Pは速報値を表す

[総合]

○景気動向指数(CI)【大阪府(6月)では、一致CI、先行CIはともに上昇。大阪府(一致CI)では、主に「百貨店売場面積当たり販売額」「有効求人倍率」が上昇に寄与。全国(6月)の一致CI、先行CIはともに上昇。】



(資料)大阪産業経済リサーチ&デザインセンター「景気動向指数」、内閣府「景気動向指数」、2015年=100

※ 先行CIは、3ヶ月から半年程度、景気に先行する指標で構成されている。

大阪府			
	21年5月	6月	7月
先行CI	99.0	P 101.6	
一致CI	70.9	P 76.7	

全国			
	21年5月	6月	7月
先行CI	102.6	104.1	
一致CI	92.1	94.5	

一致CIの個別系列の寄与度※(大阪府、6月速報)

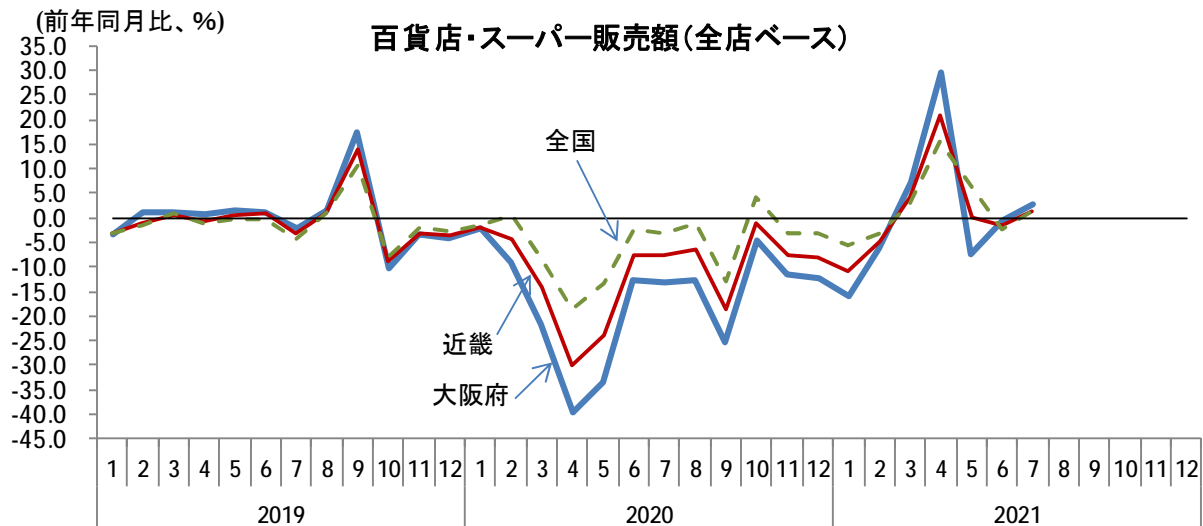
百貨店売場面積当たり販売額	大阪税関管内輸入通関額	製造工業生産指数	生産財出荷指数	人件費比率(製造業)	有効求人倍率	所定外労働時間指数(製造業)
1.65	0.42	0.63	0.78	0.88	1.19	0.32

※寄与度とは、CIの前月からの変化が、CIを合成する個別系列からどの程度もたらされたのかを示した数値。

## [需要] 消費

個人消費は、持ち直しの動きが続いているものの、一部で弱さが増している。百貨店・スーパー販売額、コンビニ販売額は増加。家電販売額、新車販売台数は減少。家計消費支出(近畿;6月)は増加。

### ○百貨店・スーパー販売額(全店)【3ヶ月ぶりの増加。】



(資料)近畿経済産業局「百貨店・スーパー販売状況」、経済産業省「商業動態統計」

#### 百貨店・スーパー販売額(全店)

		21年5月	6月	7月
販売額(億円)	大阪府	930	1,318	P 1,445
前年比(%)	大阪府	▲7.6	▲0.4	P 2.7
	近畿	▲0.0	▲1.5	P 1.4
	全国	6.0	▲2.2	P 1.3

#### 百貨店販売額(全店)

		21年5月	6月	7月
前年比(%)	大阪府	▲21.4	2.3	P 7.0
	全国	58.8	▲3.3	P 2.6

#### スーパー販売額(全店)

		21年5月	6月	7月
前年比(%)	大阪府	▲2.7	▲2.7	P ▲1.1
	全国	▲1.2	▲1.8	P 0.8

### ○コンビニエンスストア販売額(全店)【5ヶ月連続の増加。】

		21年5月	6月	7月
販売額(億円)	大阪府	652	663	P 713
前年比(%)	大阪府	5.2	2.7	P 6.2
	近畿	5.3	2.6	P 7.0
	全国	5.3	1.7	P 6.1

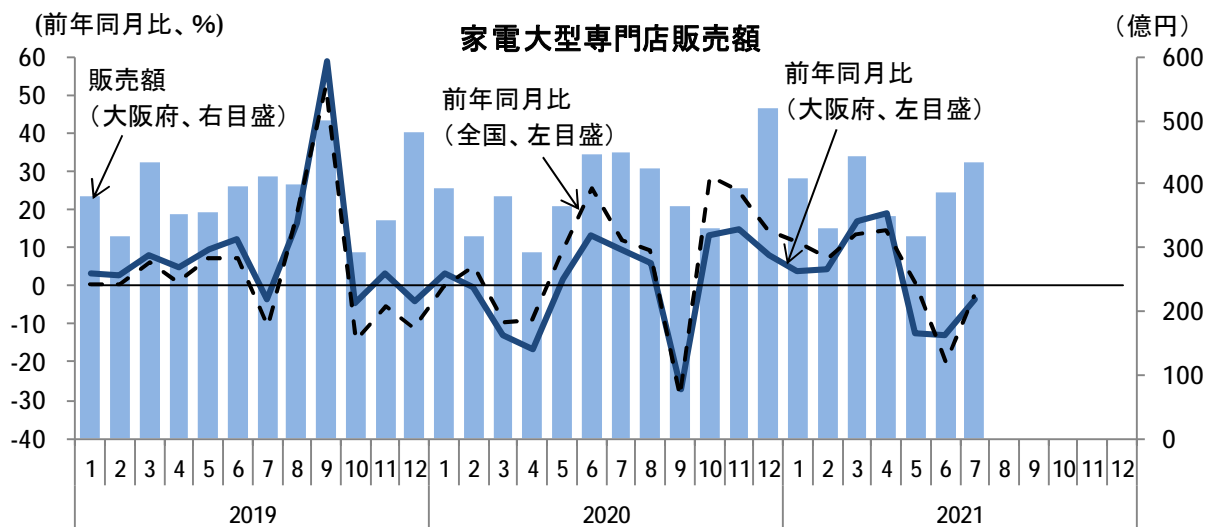
### ○家計消費支出【近畿(6月)は4ヶ月連続の増加。】

		21年5月	6月	7月
円	近畿	262,502	256,033	
前年比(%)	近畿	10.6	0.8	
	全国	11.5	▲4.9	

(資料)総務省統計局「家計調査」 ※二人以上世帯、一世帯当たりの名目。

## [需要] 消費

### ○家電販売額【前年同月比で3ヶ月連続の減少。】



(資料) 経済産業省「商業動態統計」

家電大型専門店販売額(全店)

		21年5月	6月	7月
前年比 (%)	大阪府	▲12.6	▲13.2	P ▲3.7
	全国	0.7	▲19.9	P ▲2.9

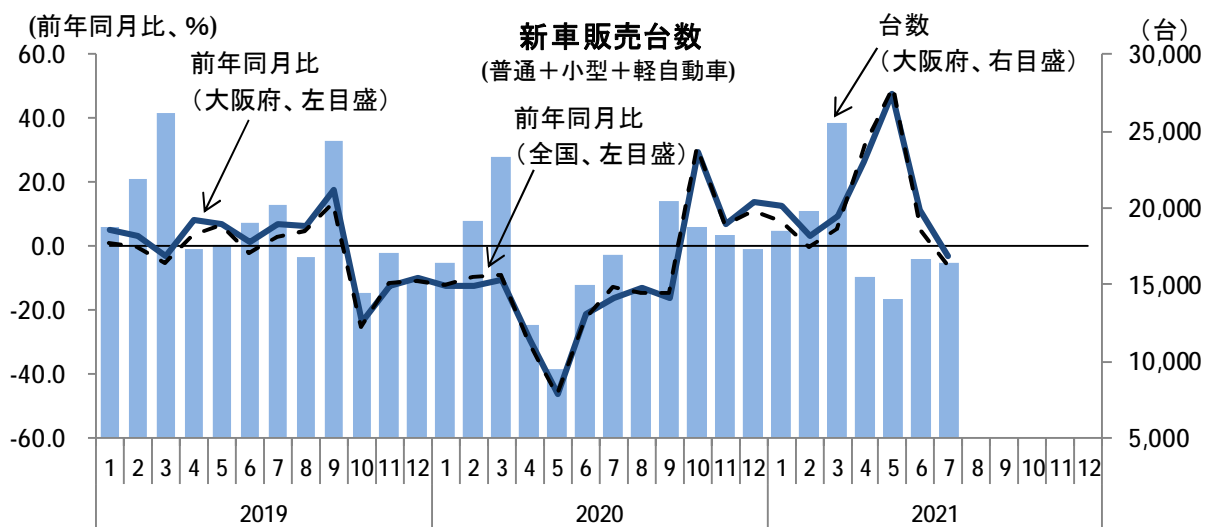
ドラッグストア販売額(全店)

		21年5月	6月	7月
前年比 (%)	大阪府	5.8	4.2	P 4.3
	全国	1.9	0.8	P 2.2

ホームセンター販売額(全店)

		21年5月	6月	7月
前年比 (%)	大阪府	▲7.0	▲9.4	P ▲4.9
	全国	▲4.7	▲10.1	P ▲2.4

### ○新車販売台数【前年同月比で10ヶ月ぶりの減少。】



(資料) (一社) 日本自動車販売協会連合会、(一社) 全国軽自動車協会連合会

		21年5月	6月	7月
販売額(台)	大阪府	14,017	16,701	16,370
前年比 (%)	大阪府	47.4	11.5	▲3.2
	全国	50.0	4.5	▲6.4

車種別の増減

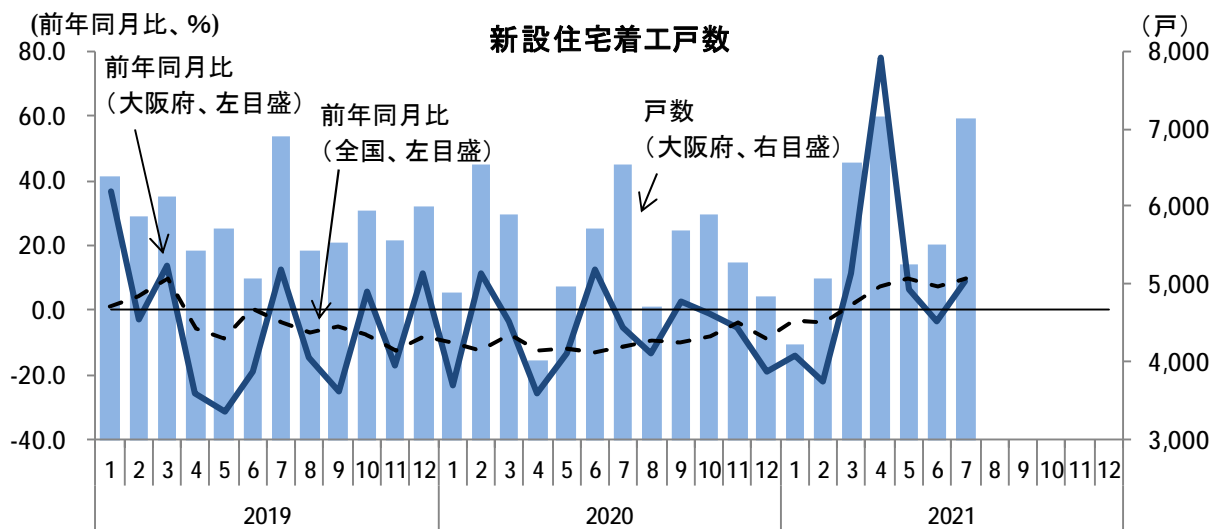
(大阪府、前年同月比(%)、7月)

普通車	小型車	軽自動車
9.5	▲5.6	▲18.1

## [需要] 投資

投資は、持ち直している。住宅投資、非居住用建設投資はともに増加。公共投資は減少。

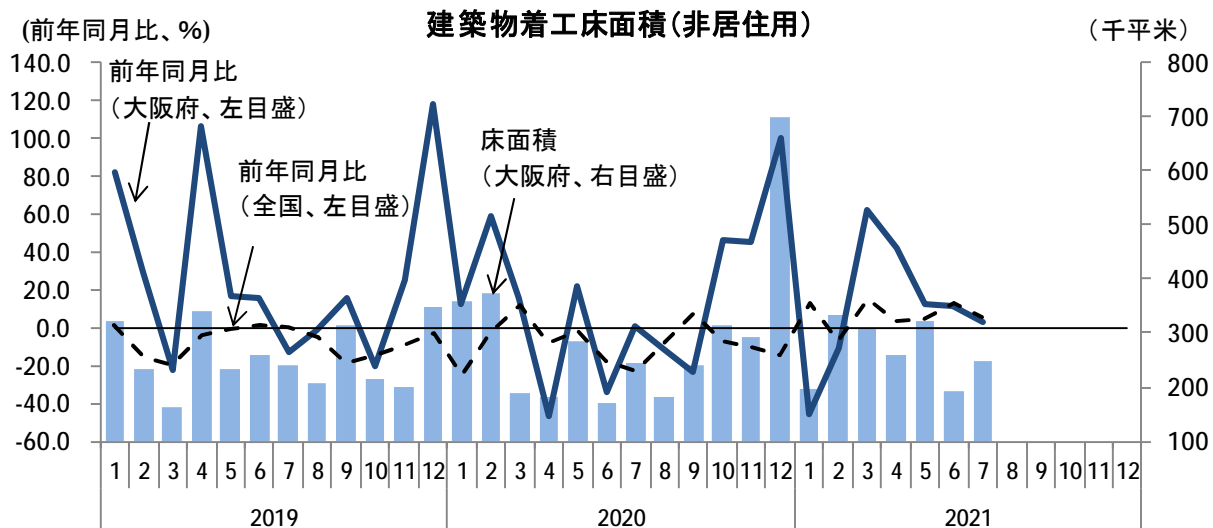
### ○新設住宅着工戸数【前年同月比で2ヶ月ぶりの増加。】



		21年5月	6月	7月
戸数	大阪府	5,263	5,521	7,131
前年比 (%)	大阪府	6.1	▲3.3	9.1
	全国	9.9	7.3	9.9

利用者関係別の増減 (大阪府、前年同月比(%)、7月)		
持家	貸家	分譲
13.7	▲1.9	23.8

### ○建築物着工床面積(非居住用)【前年同月比で5ヶ月連続の増加。】



		21年5月	6月	7月
千 m <sup>2</sup>	大阪府	321	191	250
前年比 (%)	大阪府	12.2	11.9	2.5
	全国	4.9	12.6	5.9

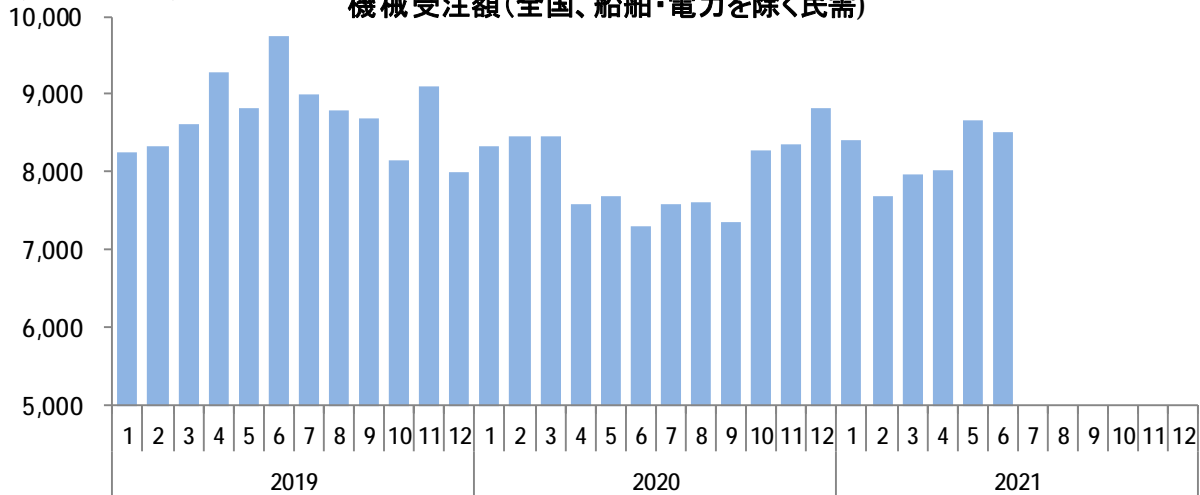
着工床面積の主な増減 (大阪府、前年同月比の寄与度※(%)、7月)	
増加	製造業(36.5)、運輸業(18.3)
減少	教育・学習支援業(▲40.8)、不動産業(▲12.0)

※寄与度とは、全体の増減率の要因として、各業種の増減がどの程度貢献しているのかを表す数値。

## [需要] 投資

### ○機械受注額【6月(全国)は前月比で減少。】

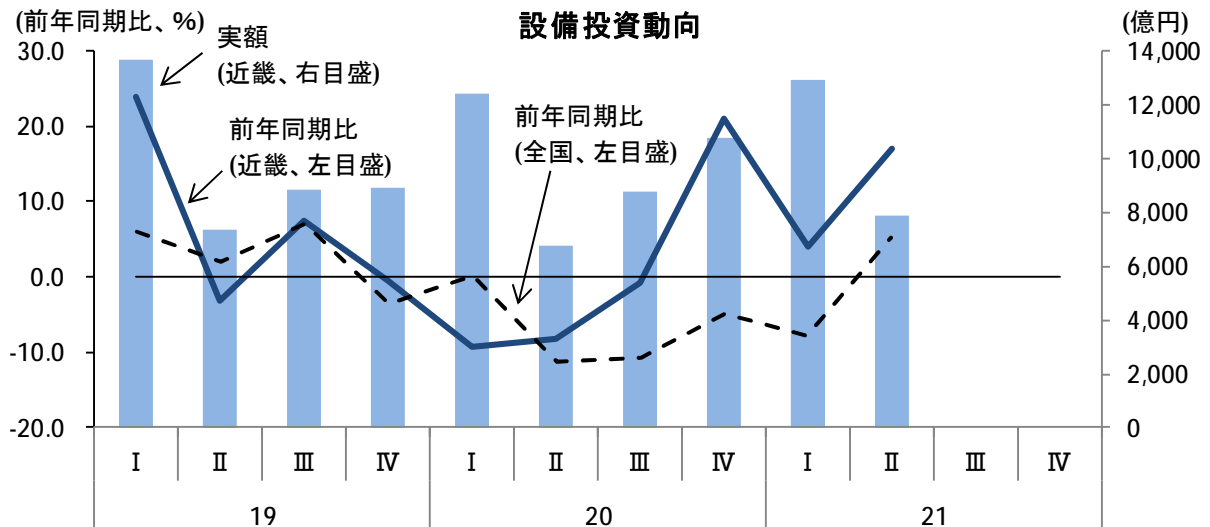
(季調値、億円)



(資料)内閣府「機械受注統計調査」

	21年5月	6月	7月
全国(億円)	8,657	8,524	

### ○設備投資動向【4~6月期(近畿)は前年同期比で3期連続の増加。「製造業」、「非製造業」はともに増加。】



(資料)近畿財務局「法人企業統計」、財務省「法人企業統計」

※資本金10億円以上、全産業(金融・保険業を除く)。ソフトウェアを含む設備投資。

		20年10~12月	21年1~3月	4~6月
億円	近畿	10,791	12,928	7,892
前年同期比 (%)	近畿	21.0	4.1	17.1
	全国	▲4.8	▲7.8	5.3

### ○公共工事請負金額【4ヶ月ぶりの減少。】

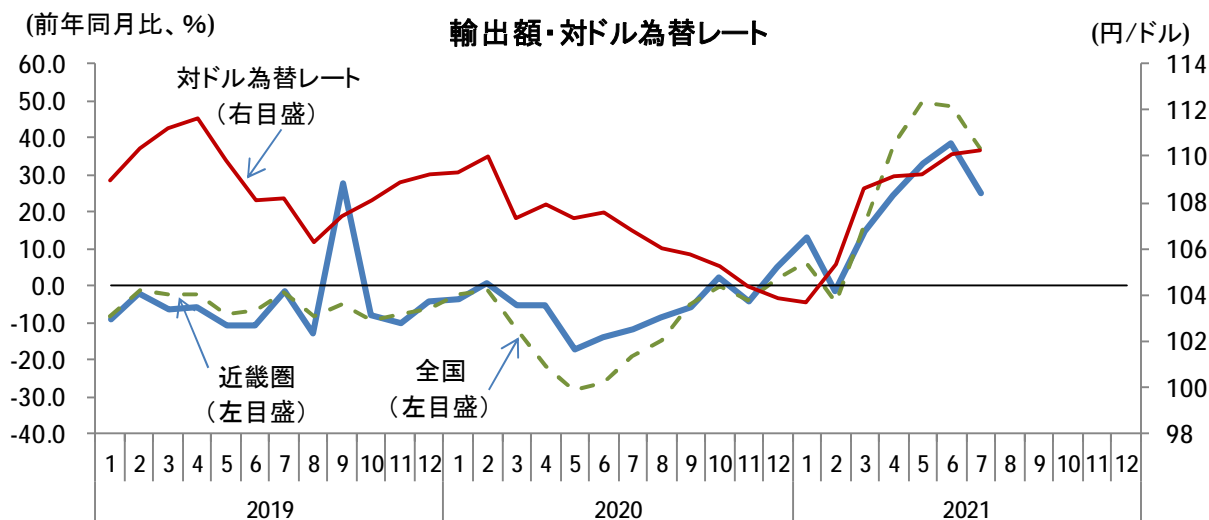
		21年5月	6月	7月
億円	大阪府	436	504	353
前年比 (%)	大阪府	39.8	0.6	▲1.9
	全国	6.3	0.7	▲9.9

(資料)西日本建設業保証(株)、東日本建設業保証(株)、北海道建設業保証(株)

## [需要] 貿易・観光

輸出は、持ち直している。輸出額は増加。主要国向けでは、すべての地域向けで増加。輸入額は増加。

○輸出額【5ヶ月連続の増加。「半導体等電子部品」、「建設用・鉱山用機械」などが増加。主要国・地域向けでは、すべての地域向けで増加。】



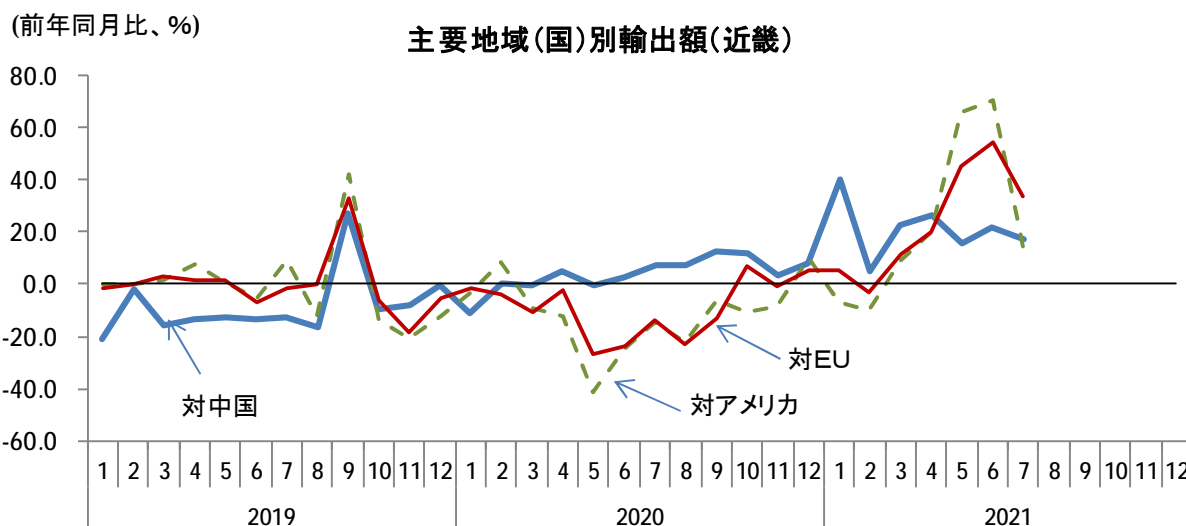
(資料)大阪税関「貿易統計」、日本銀行「時系列統計」

※対ドル為替レートは、東京インターバンク相場、ドル・円、スポット、中心相場/月中平均。

		21年5月	6月	7月
輸出額(億円)	近畿	13,834	16,080	P 15,562
前年比 (%)	近畿	33.2	38.7	P 25.0
	全国	49.6	48.6	P 37.0
為替レート(円/ドル)		109.19	110.11	110.29

品目別の主な増減  
(近畿、前年同月からの増減額順、7月)

増加	半導体等電子部品、建設用・鉱山用機械
減少	遊戯用具、加熱用・冷却用機器



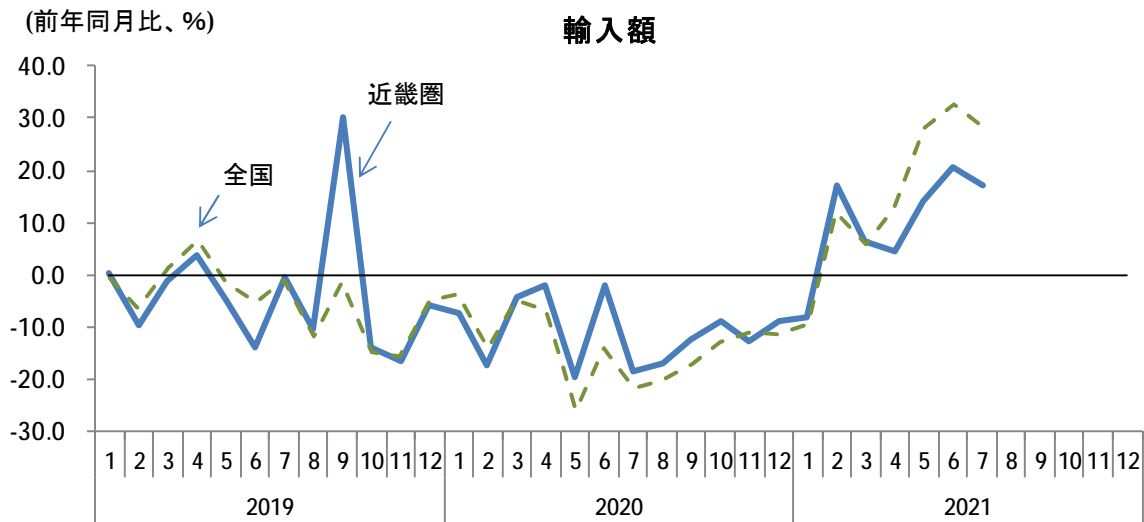
(資料)大阪税関「貿易統計」

主要地域別輸出額の増減(近畿、前年同月比(%))、7月)

アジア(含む中国)	25.7	8ヶ月連続の増加
中国	17.0	14ヶ月連続の増加
EU	33.8	5ヶ月連続の増加
アメリカ	14.7	5ヶ月連続の増加

## [需要] 貿易・観光

### ○輸入額【6ヶ月連続の増加。「原油及び粗油」、「天然ガス及び製造ガス」などが増加。】



(資料)大阪税関「貿易統計」

		21年5月	6月	7月
輸入額(億円)	近畿	11,564	P 12,784	P 12,850
前年比 (%)	近畿	14.2	P 20.7	P 17.3
	全国	28.0	P 32.7	P 28.5

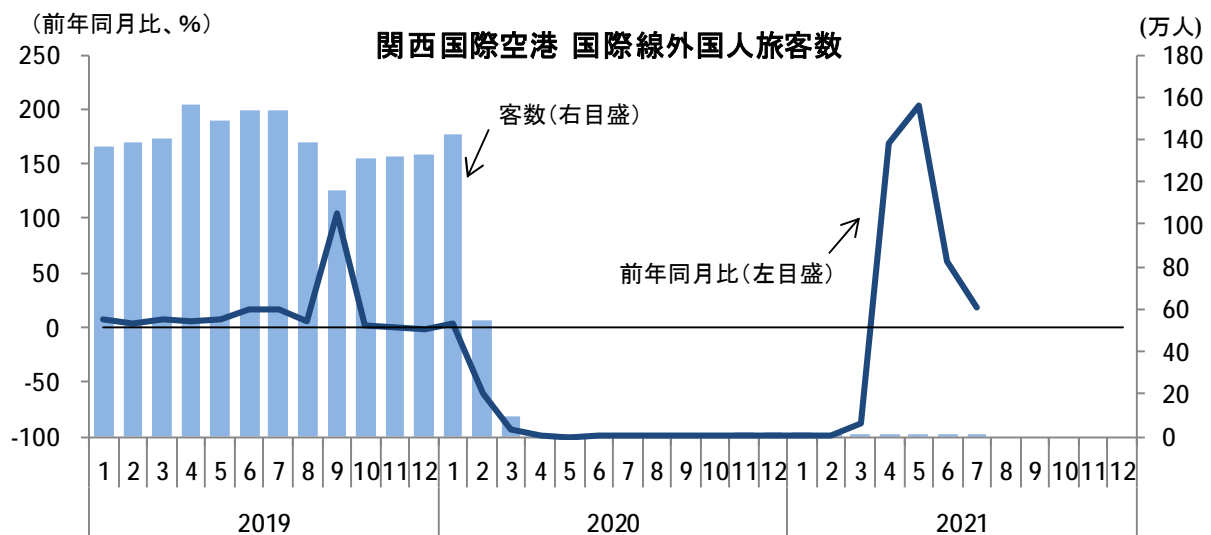
品目別の主な増減  
(近畿、前年同月から増減額順、7月)

増加	原油及び粗油、天然ガス及び製造ガス
減少	たばこ、衣類及び同附属品

主要地域別輸入額の増減(近畿、前年同月比(%))、7月

アジア(含む中国)	17.6	6ヶ月連続の増加
中国	11.9	2ヶ月連続の増加
EU	0.7	7ヶ月連続の増加
アメリカ	15.2	5ヶ月連続の増加

### ○関西国際空港 国際線外国人旅客数【前年同月比で4ヶ月連続の増加。】



(資料)関西エアポート(株)

	21年5月	6月	7月
万人	0.9	P 0.7	P 0.7
前年比(%)	204.1	P 59.9	P 18.5

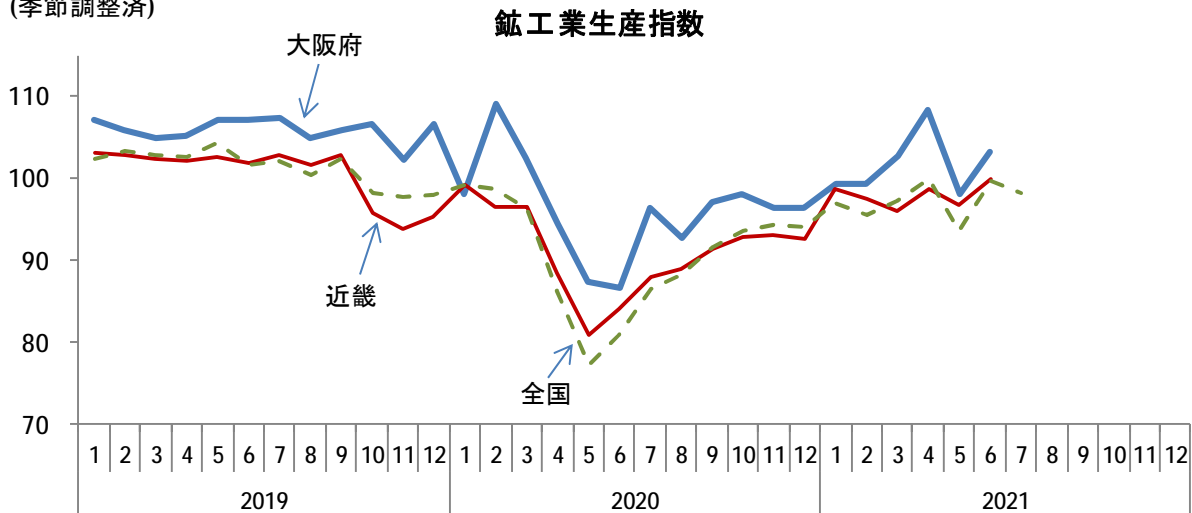


## [供給] 生産・企業活動

生産動向は、持ち直している。大阪府(6月)では、生産、出荷はともに上昇。近畿の生産(6月)は上昇。全国の生産(7月)は低下。企業倒産では、件数、負債金額はともに改善。

○鉱工業生産指数【大阪府(6月)は2ヶ月ぶりの上昇。「化学」、「生産用機械」などが上昇。近畿(6月、鉱工業)は2ヶ月ぶりの上昇。全国(7月、鉱工業)は2ヶ月ぶりの低下。】

(季節調整済)



(資料)大阪府統計課「大阪府工業指数」、近畿経済産業局「鉱工業生産動向」、経済産業省「鉱工業指数」

※大阪府は製造工業指数。2015年=100。

鉱工業生産指数

季調済	21年5月	6月	7月
大阪府	98.2	P 103.1	
近畿	96.7	100.0	
全国	93.5	99.6	P 98.1

鉱工業出荷指数

季調済	21年5月	6月	7月
大阪府	93.6	P 98.3	
近畿	96.7	99.7	
全国	92.3	96.7	P 96.1

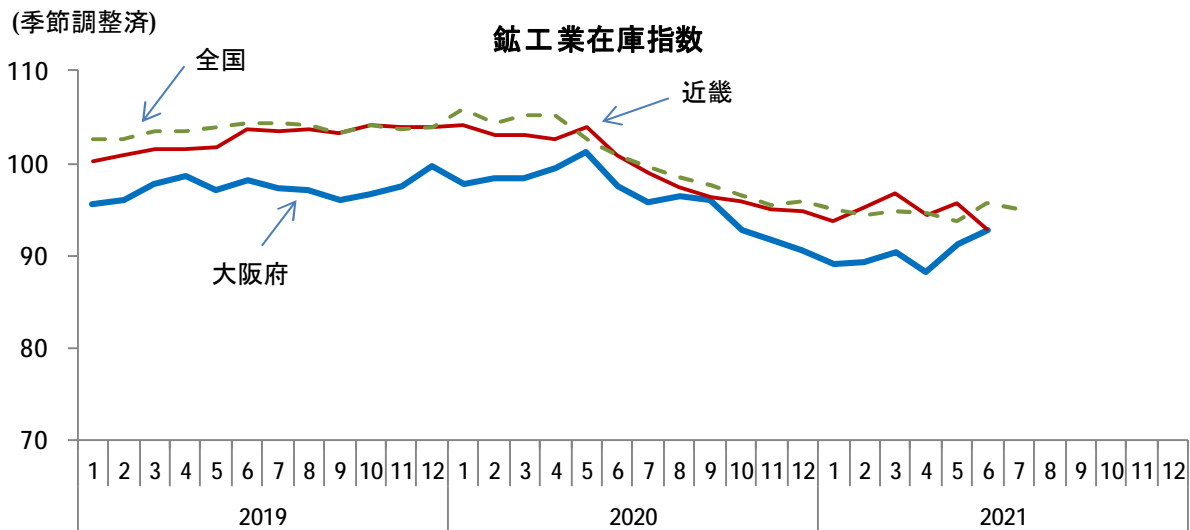
生産指数における産業別の主な変動

(大阪府、前月比(%)、寄与度順、6月速報)

上昇	化学(10.1):医薬品、酸化エチレン
	生産用機械(17.7):ショベル系掘削機械、超硬工具 はん用・業務用機械(12.7):汎用内燃機関、ポンプ
低下	電気・情報通信機械(▲6.0):無線通信装置(除、移動通信装置)、開閉制御装置
	金属製品(▲5.6):橋りょう、飲料用アルミニウム缶
	石油・石炭製品(X):ガソリン、軽油

## [供給] 生産・企業活動

○鉱工業在庫指数【大阪府(5月)は2ヶ月連続の上昇。「輸送機械」、「電気・情報通信機械」などが上昇。近畿(6月)は2ヶ月ぶりの低下。全国(7月)は2ヶ月ぶりの低下。】



(資料)大阪府統計課「大阪府工業指数」、近畿経済産業局「鉱工業生産動向」、経済産業省「鉱工業指数」  
 ※大阪府は製造工業指数。2015年=100。

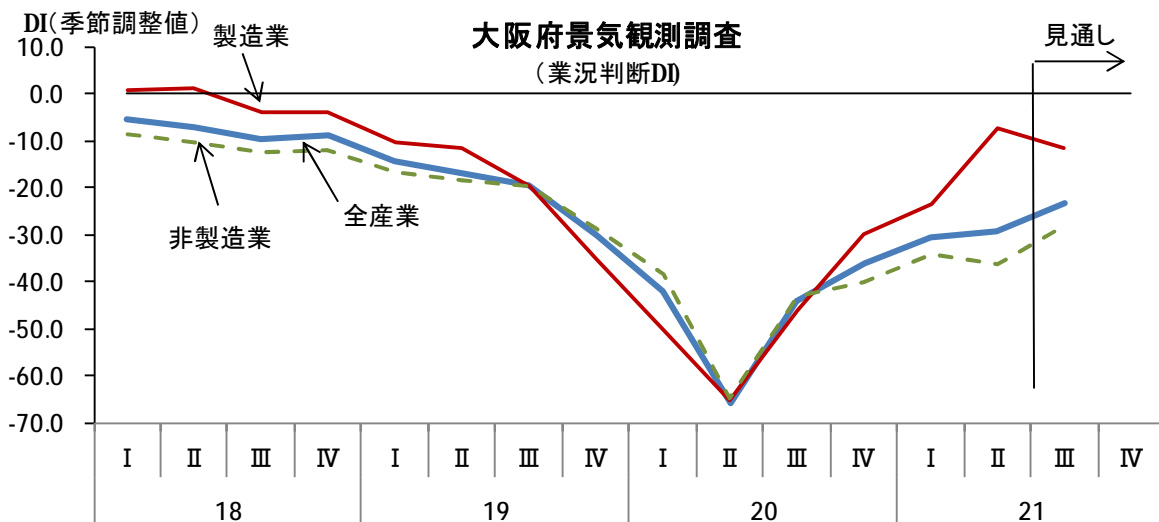
鉱工業在庫指数

季調済	21年5月	6月	7月
大阪府	91.3	P 92.7	
近畿	95.7	92.9	
全国	93.7	95.7	P 95.1

在庫指数における産業別の主な変動  
 (大阪府、前月比(%)、寄与度順、6月速報)

上昇	生産用機械(20.0): ショベル系掘削機械、超硬工具 化学(9.6): 医薬品、エチレン
低下	輸送機械(▲6.3): 鉄道車両、電動アシスト自転車 電気・情報通信機械(▲4.8): 無線通信装置(除、移動通信装置)、太陽電池モジュール

○企業の業況判断【4~6月期(全産業)は4期連続の改善。】

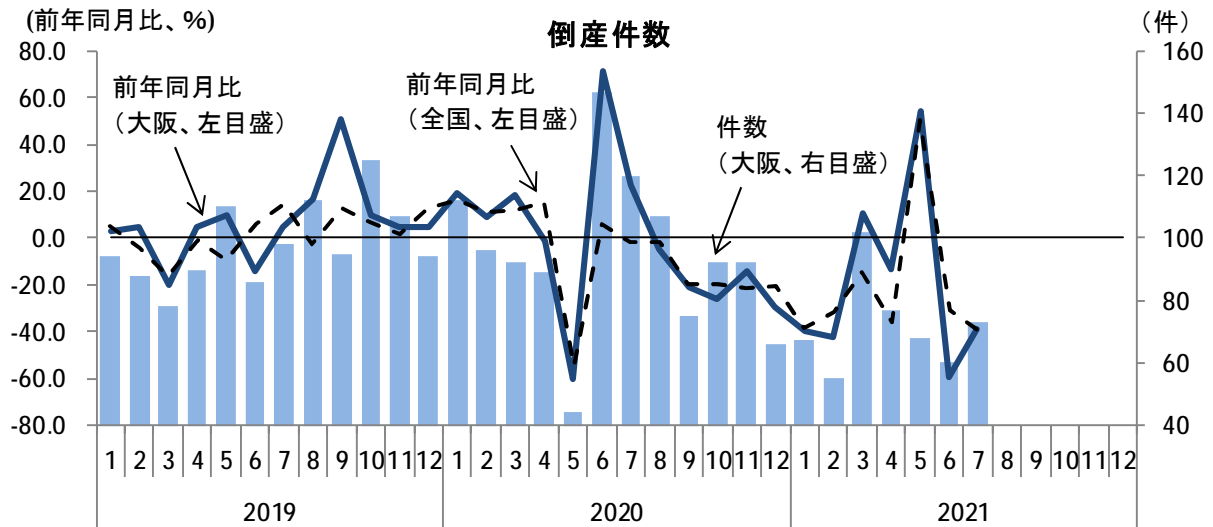


(資料)大阪産業経済リサーチ&デザインセンター「大阪府景気観測調査」

季調済	20年 10~12月	21年 1~3月	4~6月	7~9月 (見込み)
製造業	▲29.7	▲23.3	▲7.4	▲11.3
非製造業	▲40.0	▲33.9	▲36.3	▲28.3
全産業	▲36.0	▲30.4	▲29.1	▲23.4

## [供給] 生産・企業活動

○企業倒産【倒産件数は前年同月比で2ヶ月連続の減少(改善)、負債金額は前年同月比で9ヶ月連続の減少(改善)。】



(資料)東京商工リサーチ「倒産月報」

倒産件数

		21年5月	6月	7月
件	大阪府	68	60	73
前年比 (%)	大阪府	54.5	▲59.1	▲39.1
	全国	50.3	▲30.6	▲39.6

負債金額

		21年5月	6月	7月
億円	大阪府	29	33	77
前年比 (%)	大阪府	▲75.5	▲92.2	▲48.8
	全国	107.3	▲46.7	▲29.1

主要業種の倒産件数(大阪府)

	21年5月	6月	7月
建設業	13	7	9
製造業	4	5	7
卸売業	8	10	13
小売業	9	6	2
サービス業他	23	30	27

主な倒産(大阪府、7月)

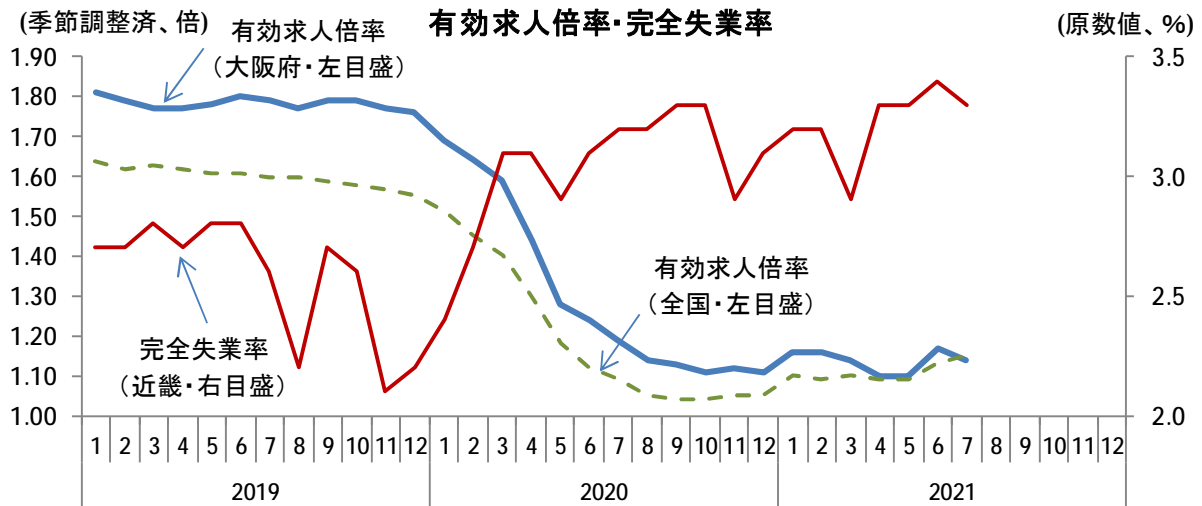
業種	負債額 (百万円)	倒産原因
商業施設賃貸管理	3,000	既往のシワ寄せ
美容機器・化粧品・雑貨販売	976	その他
空調設備ほか販売施工	847	販売不振
かばん・雑貨卸	380	販売不振
鉄筋工事	344	過小資本

## [供給] 雇用

雇用は、弱い動きが続いているものの、下げ止まりの兆しがみられる。近畿の失業率は悪化。有効求人倍率、新規求人倍率はともに低下。所定外労働時間(6月)は上昇。

### ○完全失業率【近畿は4ヶ月連続の悪化。】

有効求人倍率【大阪は3ヶ月ぶりの低下】、新規求人倍率【大阪は2ヶ月連続の低下】



(資料)厚生労働省「一般職業紹介状況」、総務省統計局「労働力調査」※有効求人倍率はパートを含む。

完全失業率(近畿、原数値)

	21年5月	6月	7月
%	3.3	3.4	3.3
前年同月差	0.4	0.3	0.1

完全失業率(全国、季節調整値)

	21年5月	6月	7月
%	3.0	2.9	2.8
前月差	0.2	▲0.1	▲0.1

大阪府、近畿及び全国の完全失業率(原数値、%)

	20年10~12月	21年1~3月	4~6月
大阪府	3.3	3.9	3.6
近畿	3.1	3.1	3.3
全国	2.9	2.8	3.0

(資料)大阪府統計課「大阪の就業状況」、総務省統計局「労働力調査」

有効求人倍率(季節調整値、倍)

	21年5月	6月	7月
大阪府	1.10	1.17	1.14
全国	1.09	1.13	1.15

新規求人倍率(季節調整値、倍)

	21年5月	6月	7月
大阪府	2.53	2.44	1.92
全国	2.09	2.08	1.98

(資料)厚生労働省「一般職業紹介状況」※パートを含む。

新規求人数の主要産業別の増減  
(大阪府、前年同月比(%))

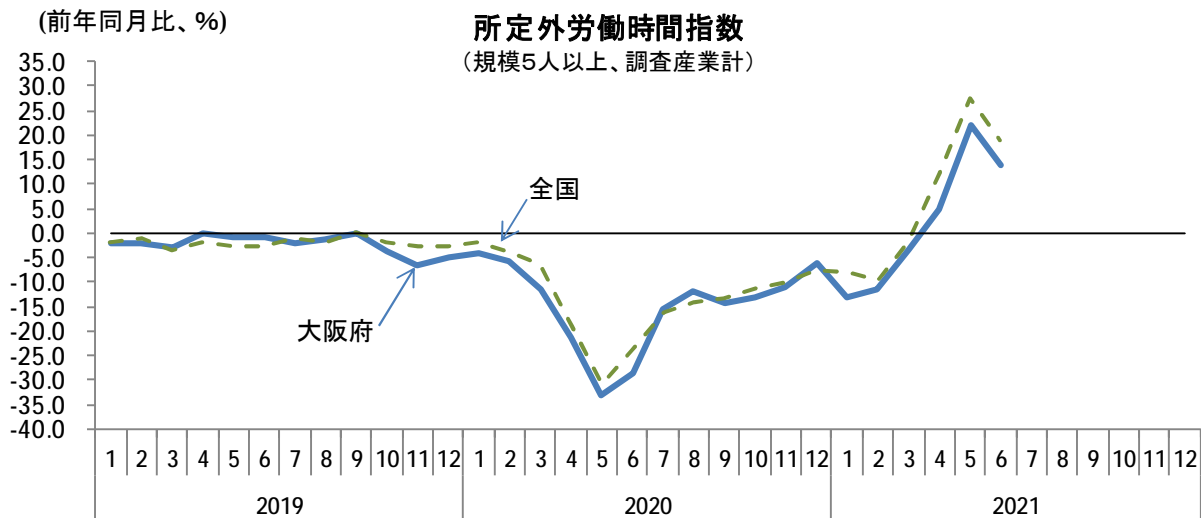
	21年5月	6月	7月
産業計	8.2	▲2.5	3.1
建設業	16.9	▲1.8	2.8
製造業	21.9	17.1	31.4
卸売業、小売業	▲9.6	▲8.0	1.3
宿泊業、飲食サービス業	49.7	▲24.7	▲6.4
医療、福祉	▲1.1	▲5.8	2.1

(資料)大阪労働局「大阪労働市場ニュース」

※新規求人数の増減は原数値での比較

## [供給] 雇用

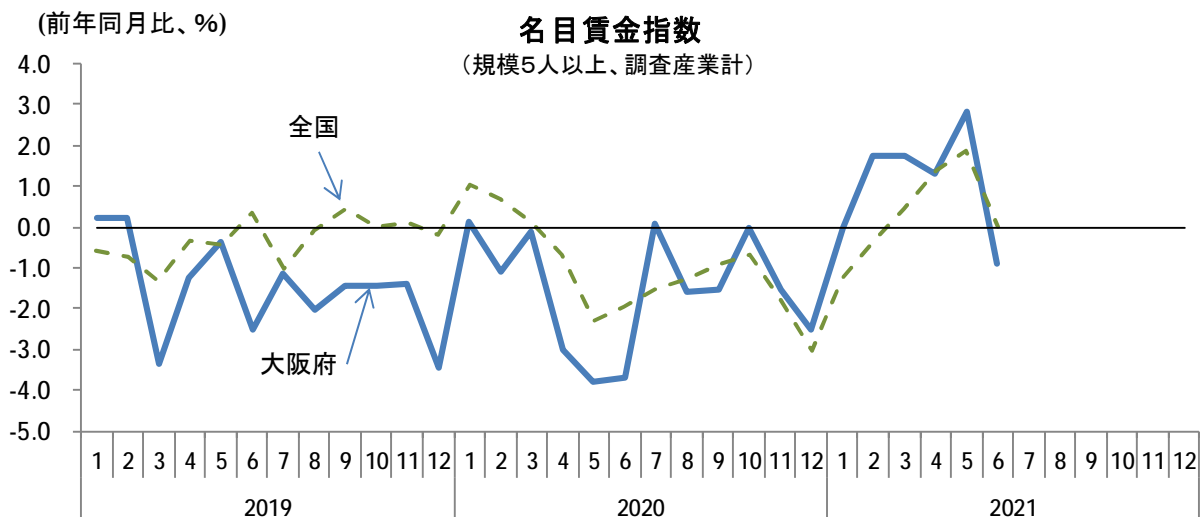
### ○所定外労働時間指数【大阪府(6月)は3ヶ月連続の上昇。】



(資料)大阪府統計課「大阪の賃金、労働時間及び雇用の動き」、厚生労働省「毎月勤労統計調査」  
※事業所規模5人以上、前年同月比は労働時間指数(2015年=100)による。

		21年5月	6月	7月
指数	大阪府	79.0	79.0	
前年比 (%)	大阪府	21.9	13.7	
	全国	27.6	18.8	

### ○名目賃金指数【大阪府(6月)は6ヶ月ぶりの低下。】

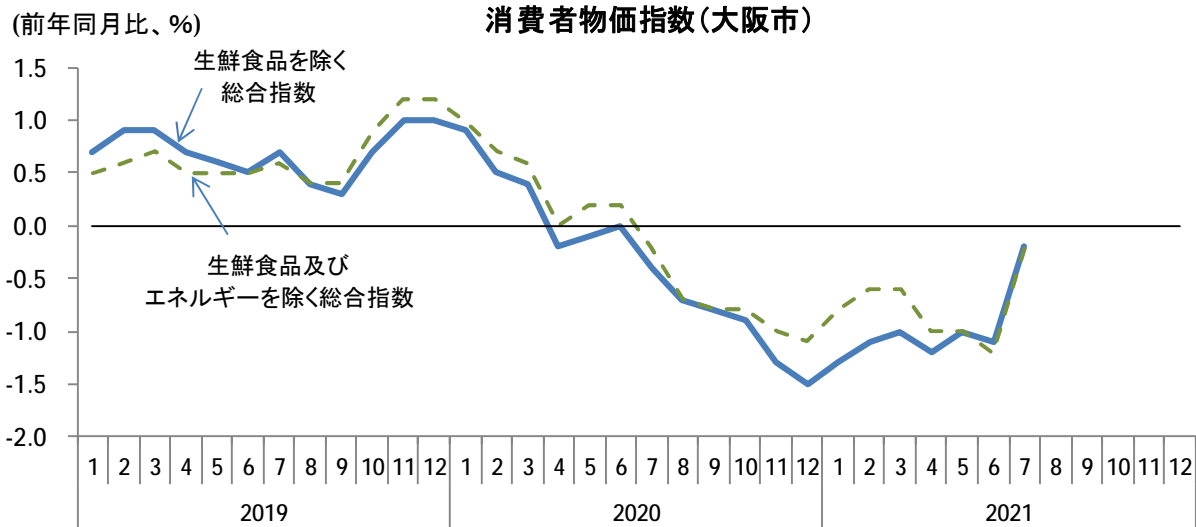


(資料)大阪府統計課「大阪の賃金、労働時間及び雇用の動き」、厚生労働省「毎月勤労統計調査」  
※事業所規模5人以上、前年同月比は名目賃金指数(2015年=100)による。

		21年5月	6月	7月
現金給与総額(円)	大阪府	278,232	447,932	
前年比 (%)	大阪府	2.8	▲0.9	
	全国	1.9	0.1	

## [その他] 物価

○消費者物価指数【大阪市の生鮮食品を除く総合指数は 17 ヶ月ぶりの上昇。「光熱・水道」「住居」が上昇に寄与。生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数は 14 ヶ月ぶりの上昇。】



(資料)大阪府統計課「大阪市消費者物価指数」、総務省「消費者物価指数」

※2020年=100。

### 総合指数

		21年5月	6月	7月
指数	大阪市	99.1	99.2	P 99.2
前年比 (%)	大阪市	▲1.0	▲0.3	P ▲0.3
	全国	▲0.8	▲0.5	▲0.3

### 生鮮食品を除く総合指数

		21年5月	6月	7月
指数	大阪市	99.2	99.4	P 99.4
前年比 (%)	大阪市	▲1.1	▲0.2	P 0.2
	全国	▲0.6	▲0.5	▲0.2

### 生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数

		21年5月	6月	7月
指数	大阪市	99.1	99.2	P 99.2
前年比 (%)	大阪市	▲1.2	▲0.2	P 0.3
	全国	▲0.9	▲0.9	▲0.6

### 総合指数において主に変動した分類

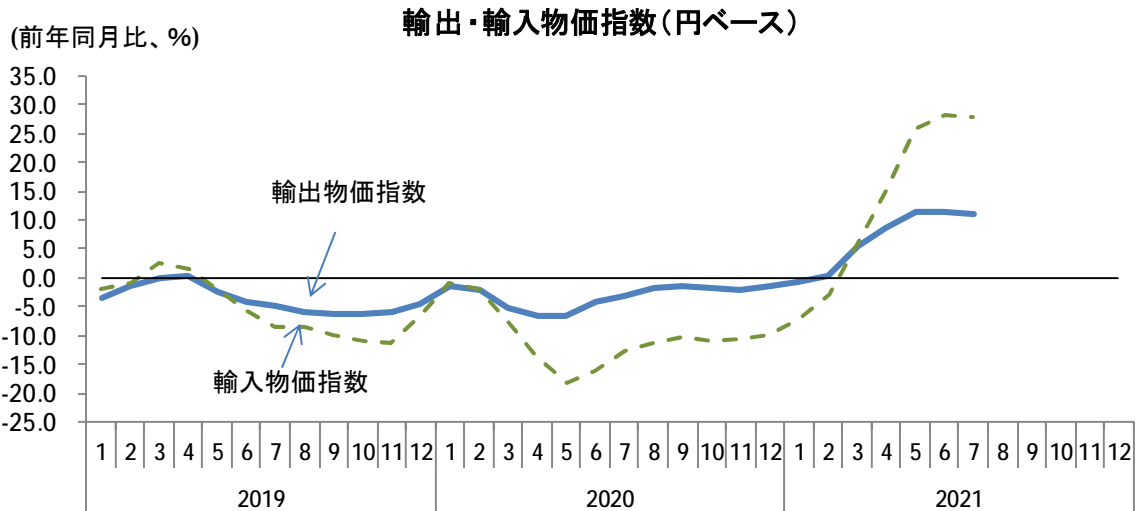
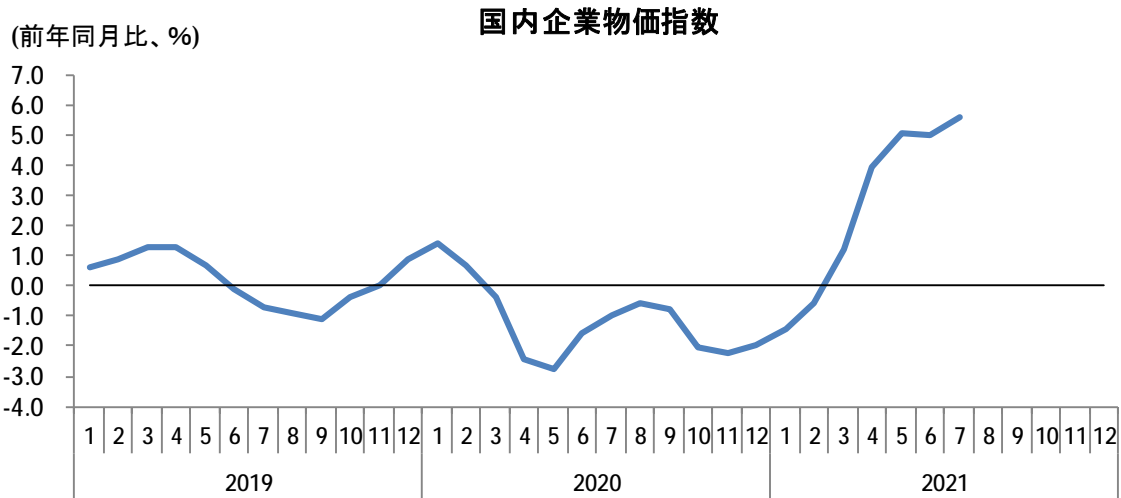
(大阪市、前年同月比(%)、寄与度順、7月)

上昇	光熱・水道(7.9): — 住居(1.0): —
低下	交通・通信(▲10.4): — 食料(▲0.8): —

※今月は、CPIの基準年変更により、主な品目は不明

## [その他] 物価

### ○企業物価指数【国内企業物価指数は上昇。】



(資料) 日本銀行「企業物価指数」、IMF「Primary Commodity Prices」

※輸出・輸入物価指数は円ベース。物価指数は 2015 年=100。

#### 企業物価指数

	21年5月	6月	7月
国内企業物価指数	104.0	104.6	P 105.7
輸出物価指数	98.3	99.2	P 99.6
輸入物価指数	99.7	102.3	P 104.1

※輸出物価指数、輸入物価指数は円ベース。2015年=100。

#### 国内企業物価指数の前月比変化に寄与した 主な類別・品目(7月速報、寄与度(%))

石油・石炭製品 (0.28) : ガソリン、軽油、ナフサ  
電力・都市ガス・水道 (0.27) : 業務用高压電力、産業用特別高压電力、産業用高压電力